

組織名 本州四国連絡高速道路株式会社

組織情報

所在地 (代表組織)	神戸市中央区小野柄通4-1-22 アーバンエース三宮ビル	
サイトアドレス	http://www.jb-honshi.co.jp/	
連絡先	電話	078-291-1065(直通)
	FAX	078-291-1359

組織概要

管轄・組織体制など
ネットワーク図



組織図

本社

- 経営計画室
- 総務部
- 経理部
- 企画部
- 業務部
- 安全技術部
- 保全部
- 長大橋技術センター
- 観光・お客様サービス室
- 監査室
- 東京事務所

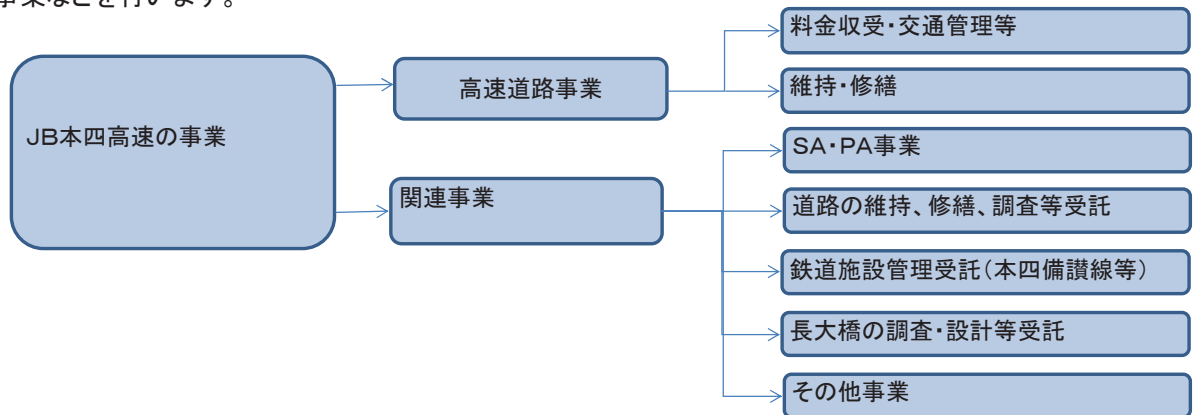
管理センター

- 神戸管理センター
- 鳴門管理センター
- 岡山管理センター
- 坂出管理センター
- しまなみ尾道管理センター
- しまなみ今治管理センター

所掌事務・担当業務

1. 事業内容

本州四国連絡高速道路株式会社(以下「JB本四高速」)は、高速道路事業として、本州と四国を連絡する自動車専用道路等の維持、修繕、料金收受などの管理を行うとともに、関連事業として、サービスエリア等の休憩施設(SA・PA)の運営、国や地方公共団体からの委託に基づく長大橋や道路に関する調査・設計の受託事業などを行います。



(1) 高速道路事業

JB本四高速は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返還機構から借り受けた本州四国連絡高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理を行います。

(事業運営方針)

安全・安心・快適な道路サービスを提供するため、質の高い交通管理をめざすとともに、200年以上の長期にわたり、橋・道路の機能を確実に果たすため、「予防保全」の手法を用いて、万全な維持管理を行います。

このため、計画的・効率的な事業運営に努めるとともに、点検技術の高度化、補修技術の開発を進め、維持管理コストの低減を図ります。

(2) 関連事業

JB本四高速は、11箇所のサービスエリア・パーキングエリアの管理を実施し、旅の疲れを癒し、瀬戸内の自然・景観を満喫できる快適な空間の形成、地域の産物を活かした食事・土産など、お客様に喜ばれるサービスの提供に努めます。

また、高速道路機構が承継した本州と四国を連絡する鉄道施設の管理や、長大橋技術を活用した調査・設計業務等の受託事業を実施します。

(事業運営方針)

JB本四高速の経営の安定と成長をめざし、お客様や地域の皆様に喜ばれる多様な事業展開に努め、関連事業の拡大に取り組みます。

組織名	本州四国連絡高速道路株式会社
-----	----------------

防災に関する取組など

1. 安全・防災

道路の維持・管理の実施にあたっては、台風・地震等の自然災害、交通事故及び労働災害等、様々なリスクを低減するため、防災対策の向上や交通事故・労働災害防止に取り組みます。

(1) 自然事象災害防止

台風や地震等の自然災害によって大きな被害が発生しないように、また被害が拡大しないように、あらかじめ予防、減災対策を講ずるとともに、災害が発生した場合には迅速に災害対策業務を開始し、被災者救護、二次災害の防止、早期復旧を行う体制を充実します。

1) 防災対策の向上

台風や地震等による被害が発生する恐れがある場合又は発生した場合に、被害の発生を未然に防止し、又は被害の拡大を防ぎ道路交通を確保するため、防災に関する調査研究、防災体制の整備、資機材や食料、飲料水等の備蓄、防災教育・訓練の充実等の推進を図ります。

さらに、光ファイバーによる通信の高速化、通信手段の複数化、現地映像の本社・管理センターでのモニター等、通信ネットワークによる情報共有の高度化により、防災対策の質的・技術的向上に努めます。



— 整備済み — 今後整備

防災訓練

通信ネットワークによる情報共有の高度化

2) 地域及び他機関との連携

災害が発生した場合は、国、地元地方自治体の関係機関と緊密な連携を図って対応します。地元自治体と事前に協定を締結し、避難場所の確保、災害復旧の支援等に努めます。また、他の高速道路会社、建設業団体等とも協定し、復旧を迅速に行う体制を構築します。

さらに、災害に備えて、これらの関係機関が開催する防災会議、防災訓練等に積極的に参加します。

3) BCPの充実

2008年度～2011年度にかけて、地震版、新型インフルエンザ版、東日本大震災を踏まえた津波版BCPを作成しました。今後これらの見直しを行うとともに、課題事項のフォローアップを定期的実施し、充実します。

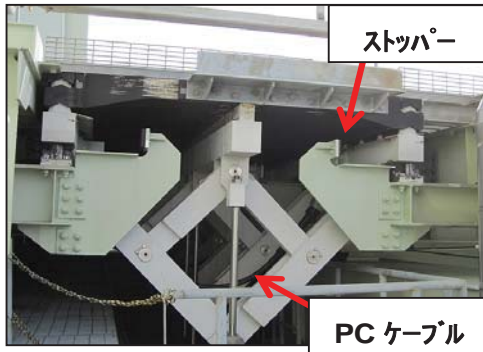
さらに、事例研究を行い、大規模被害時の対応についても検討を進めます。

防災に関する取組など

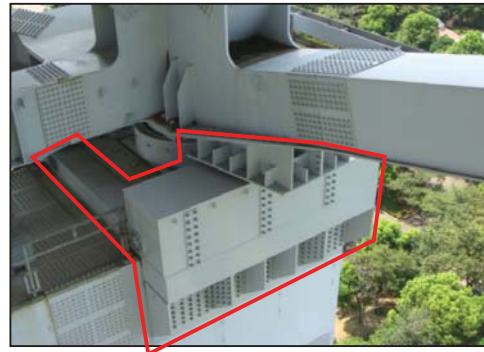
2. 橋梁の耐震補強計画

本四道路は本州と四国を結ぶ重要な幹線道路であるため、近い将来に発生が予想されている東南海・南海地震等のプレート境界型地震及び内陸直下型地震に対する必要な補強を行います。

- 1) 1980年より古い耐震設計基準で設計した橋梁の補強は完了しました。
- 2) 瀬戸大橋のトラス3橋の段差防止及び大鳴門橋の落橋防止システム工事は完了しました。
- 3) 県庁所在地間を結ぶ耐震ネットワークとして、本州と四国間に1ルートを確認するため、神戸淡路鳴門自動車道の垂水IC～淡路IC間及び淡路島南IC～鳴門IC間の耐震補強を完了します。



明石海峡大橋 伸縮装置 落下対策



番の州高架橋2P 段差防止

3. 道路施設の保全

2009年8月の駿河湾を震源とした地震による東名牧之原SA付近の盛土のり面の崩落、2011年3月の東日本大震災による盛土のり面の崩落等を受け、盛土の類似箇所の詳細調査を実施し、対策が必要と判断した盛土のり面について防災対策を進めます。



のり面地質調査状況